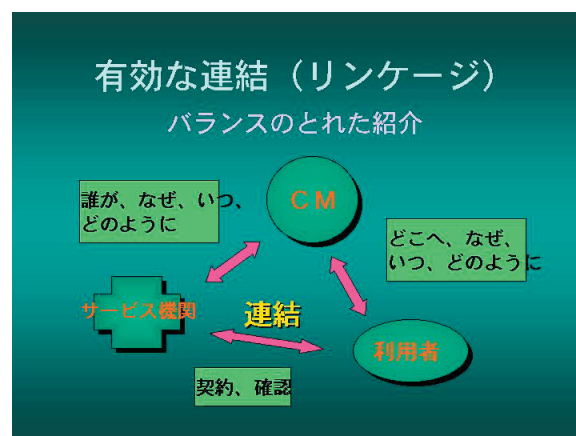
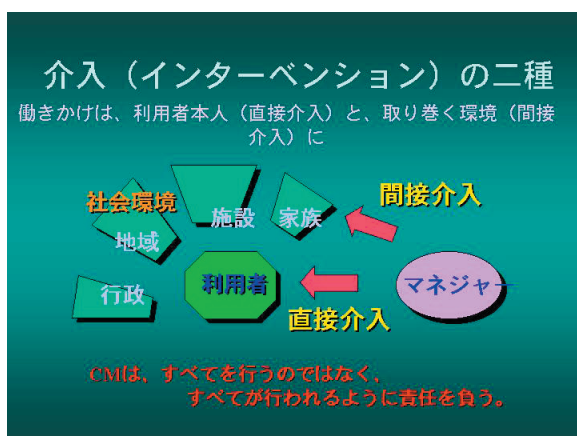
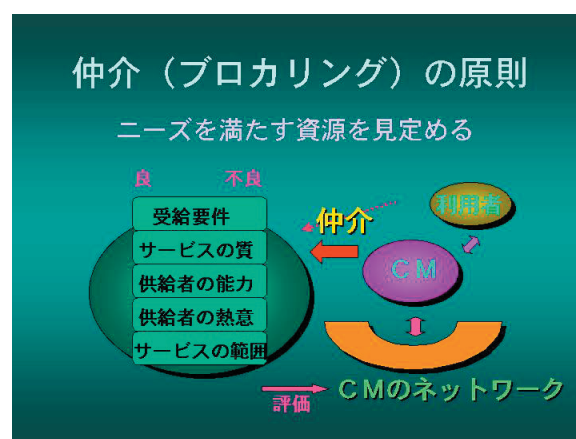
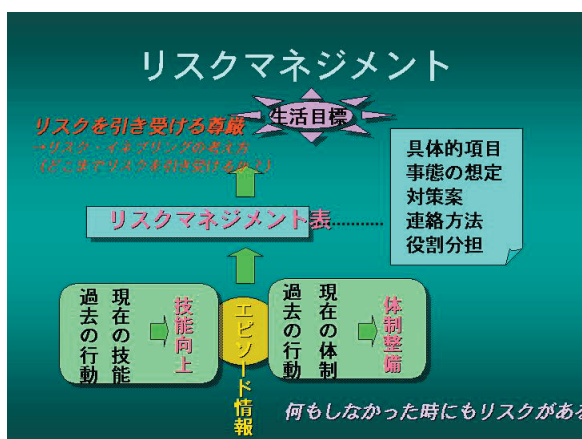
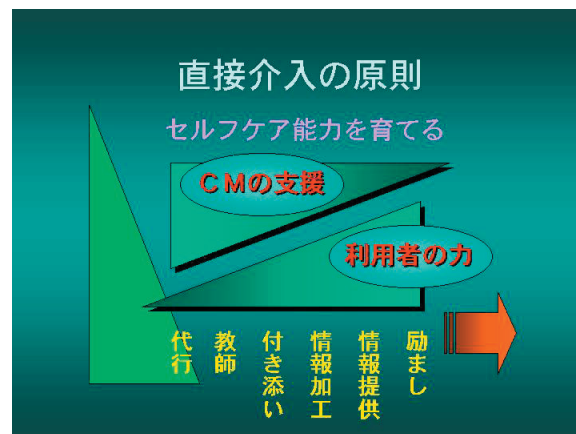
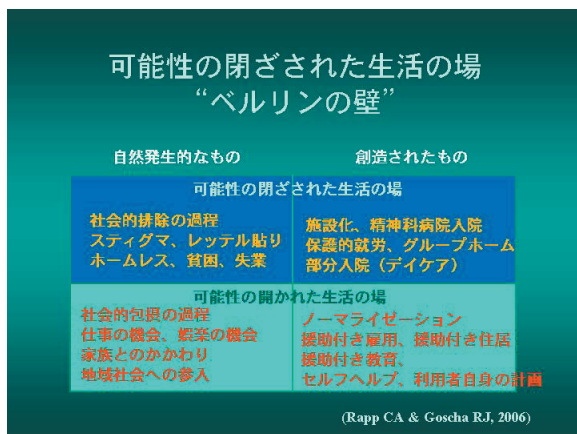
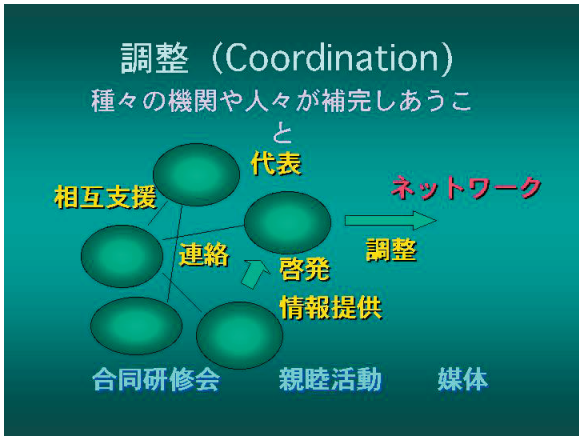
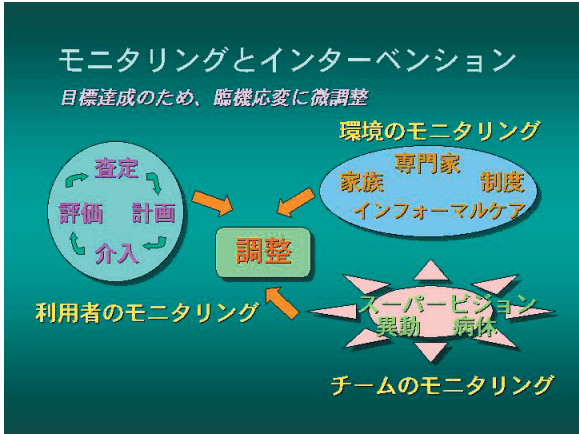
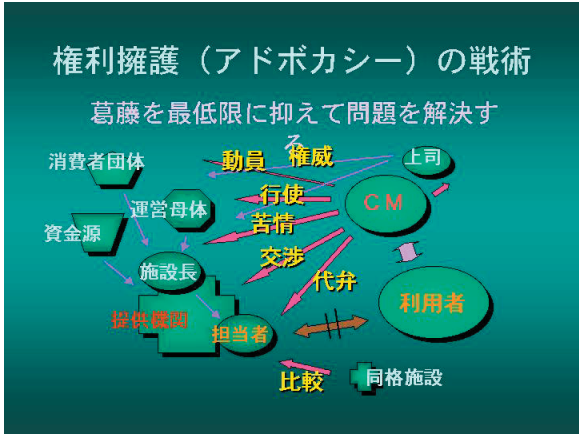




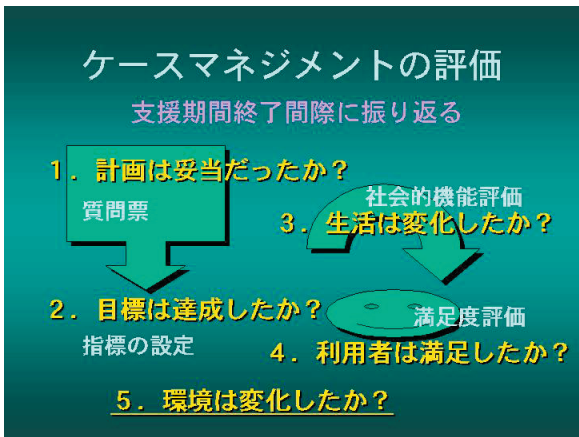
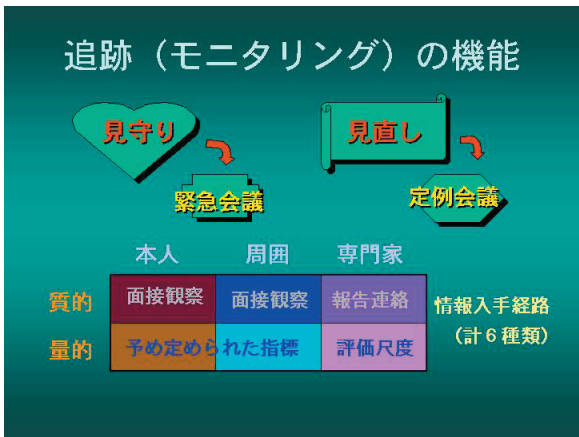


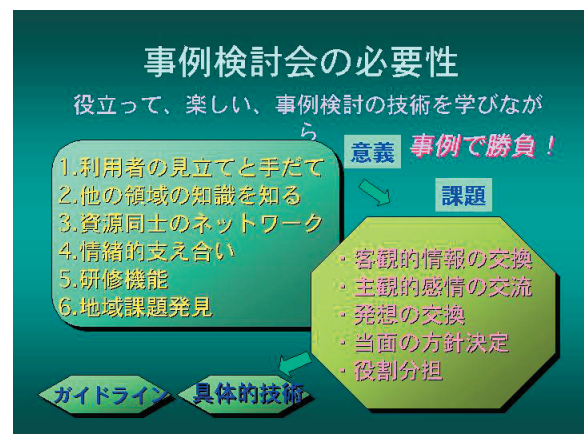
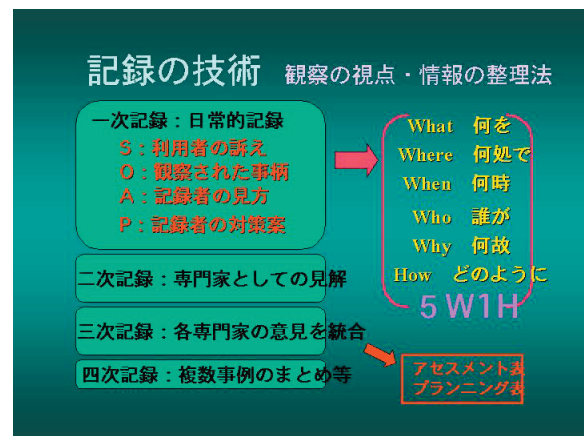
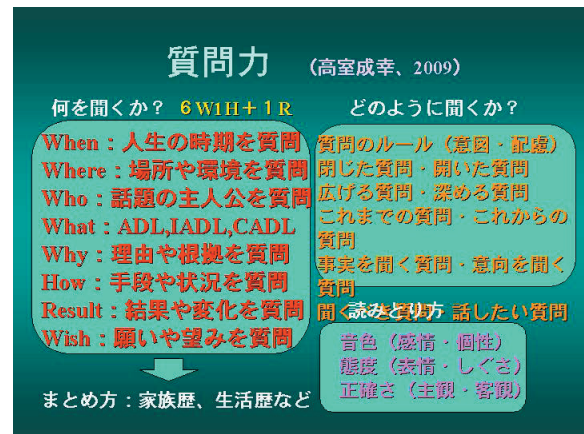
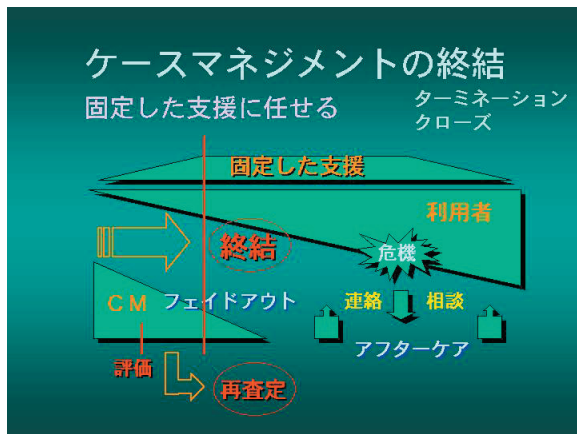
モニタリング表の原型

利用者名 _____ □ 定期 □ 利用者の変化時
CM名・記入日 _____ □ その他 □ 事業者の変化時

目標	実施状況	確認方法	時期	本人・家族の満足度	関係者	今後の対応
①						
②						
③						

実践目標の管理－査定と計画の微調整





参加者が満足できるように

1 例：90～120分

ケースプレゼンテーション

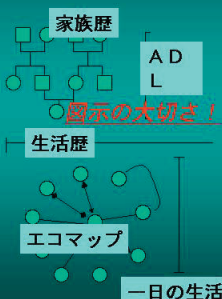
持っている情報・提出意図

情報収集・意見交換

$$p = \lambda_1 = \lambda_2 = H$$

感想交流： 歸國訪問

感想交流，疑問確認

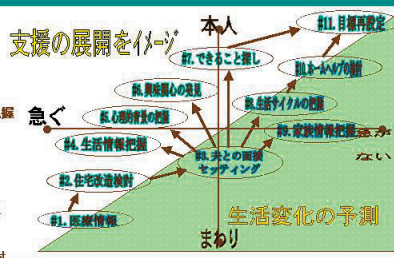


ホワイトボードの活用-2

支援目標設定 ▶ 支援計画策定

【支援目標】

- #1.医療情報確認
- #2.住宅改造検討
- #3.面接セッティング
- #4.健康時の生活情報把握
- #5.心理的背景の把握
- #6.興味・関心の発見
- #7.できること探し
- #8.生活サイクルの把握
- #9.家族情報把握
- #10.ホームヘルプの検討



1). 人の発言を聴く

全員の声に注目、相づち、メモ
目標達成との関連を考える、
組み合わせる考える

2). わかりやすく話す

大きめの声、言葉遣い、
誰に向けて、表情や身振り、
視覚的道具

3). 積極的に参画する

情報の積極的な提供、
参加の機会増やす、
理由と根拠を示す、
相手の感情や知識の読み

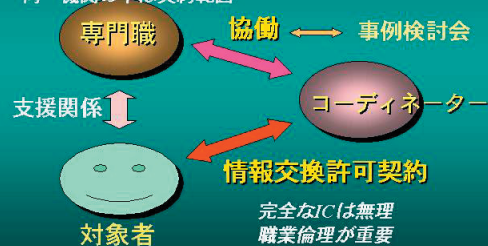
4).目標達成に努力する

進行の流れを読む、
無駄な論争避ける、
司会の助け、
解決策の支持

高橋誠：会議の進め方，日本経済新聞社，1987。

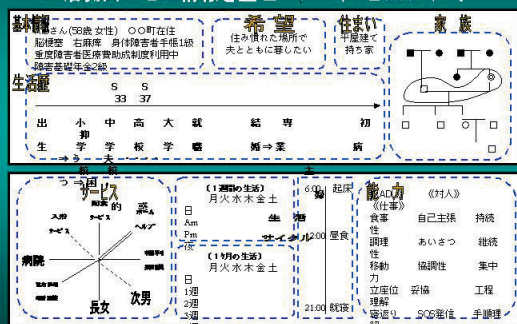
対象者本人の利益とすることが原則

同一機関の中は契約範囲



ホワイトボードの活用-1

生活側面ごとに情報を整理 ▶ アセスメント



アメリカ合衆国連邦政府令(2001年)

Standards for Privacy of Individually Identifiable Health Information, the Privacy

原則：健康情報を利用しないし開示する前に患者の同意を要する

例外

1. 救急の場合
2. 法による強制の場合
3. コミュニケーションが
実質的にとれない場合
4. 間接的な治療関係
(臨床検査者など)

(同意の絶対化から相対化への傾向)

實施細則

1. ケア提供のための開示を断る
場合は、治療を断っても良い
2. 文書による同意は一度だけで良い
3. 同意は簡潔に短くて良い
制限を加えたり、同意を止めること
ができることも記載

